キャラクター名
郡　深紅（こおり　しんく）

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	高校一年生	性別	男
覚醒	命令	衝動	憎悪	初期侵食率	33 %
出自	母親不在	経験	汚れ仕事	邂逅	ビジネス（ルナリア・ナイトレイ）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	0	0			3
感覚	1	0	0			1
精神	3	1	3			7
社会	1	0	0			1

HP	33
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
青蓮（せいれん）	ＲＣ	10r+4		18 +6		コンセ+氷の塔+餓えし影（+贄）/範囲（選択）/同エンゲージ不可/C値8/侵蝕8
@100-	ＲＣ	13r+4		22 +9		ダイス+3/エフェクト+1
黒縄（こくじょう）	ＲＣ	13r+4		24 +9		100↑/コンセ+プラズマ+餓えし影（+贄）/単体/C値7/侵蝕8
大紅蓮（だいぐれん）	ＲＣ	13r+4		42 +9		100↑/上記+氷の塔/単体/同エンゲージ不可/C値7/侵蝕12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
究極のゼロ（アブソリュート・ゼロ）	P	N		
仇	P 憧憬	N 憎悪		
シナリオロイス：瀬名方玲人（昇華）	P 有為	N 隔意		
八重樫若菜（昇華）	P 誠意	N 脅威		
相馬武	P 有為	N 不快感		
上本荒士	P 好奇心	N 不快感		
リリー	P 連帯感	N 隔意		

最大財産P: 2	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2+1	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-Lv（下限7）/Dロイス効果で判定ダイス+3個、侵蝕3								
氷の塔	5	4	メジャー	視界	範囲（選択）	RC	-	
効果：攻撃力:+[Lv*3]の射撃攻撃/同エンゲージ不可								
餓えし影	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果：攻撃力:+[Lv+2]の射撃攻撃								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果：攻撃力:+[Lv*5]の射撃攻撃								
喰らわれし贄	2	1	オート	至近	自身	-	-	
効果：オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用/シーン中のウロボロスのエフェクトを組み合わせた攻撃力+[Lv*3]/1シーン1回								
快適室温	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動成功	-	
効果：シーン内の気温をあなたが快適だと思う温度に調節できる、シーンの一部だけを変更してもよい								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【Gray Phantomの後】
人に何かを言われれば「それが命令ならば」とビジネスライクに承諾する深紅。
そんな彼に友人……？ができた。
しかし、人と深く関わってこなかったため、友人というものがどういう存在なのかいまいち理解できていない。
拒否できる命令？　いざという時に頼る存在？
チルドレンとしては経験豊富な部類に入る深紅だが、人間として学ぶべきところは多い。

黒い炎を秘めたまま凍り付いた彼の心は、そう簡単に溶けそうにはない。
現世との縁は、深い憎しみによって保たれているのが現状だ。
傀儡の顔をしながら、彼は自分が出すべき答え――人生の終着点を『知っている』。
その答えが間違っていようが関係ない。終着点がどこにあるのかさえ知ることができれば、後は……

深紅は時限の見えない時限爆弾のようなものだと誰かが言った。
できれば、そんな時など永遠に来ない方がいいのかもしれない。
普通の子供のように、普通に過ごし、普通に笑い、普通に泣いて。

さまざまな者たちと出会い、交流を重ねることで、彼が少しでもこの生に意義を覚えたのならば。
彼が導き出す答えも少しは変わるのかもしれない。
――まあ、どんな事情があったとしても、今は次なる任務をこなすことが先決だ。
事件は待ってはくれないのだから。